

G

Rotary International District 2530

ガバナー月信2022年 / 1月号

GOVERNOR'S

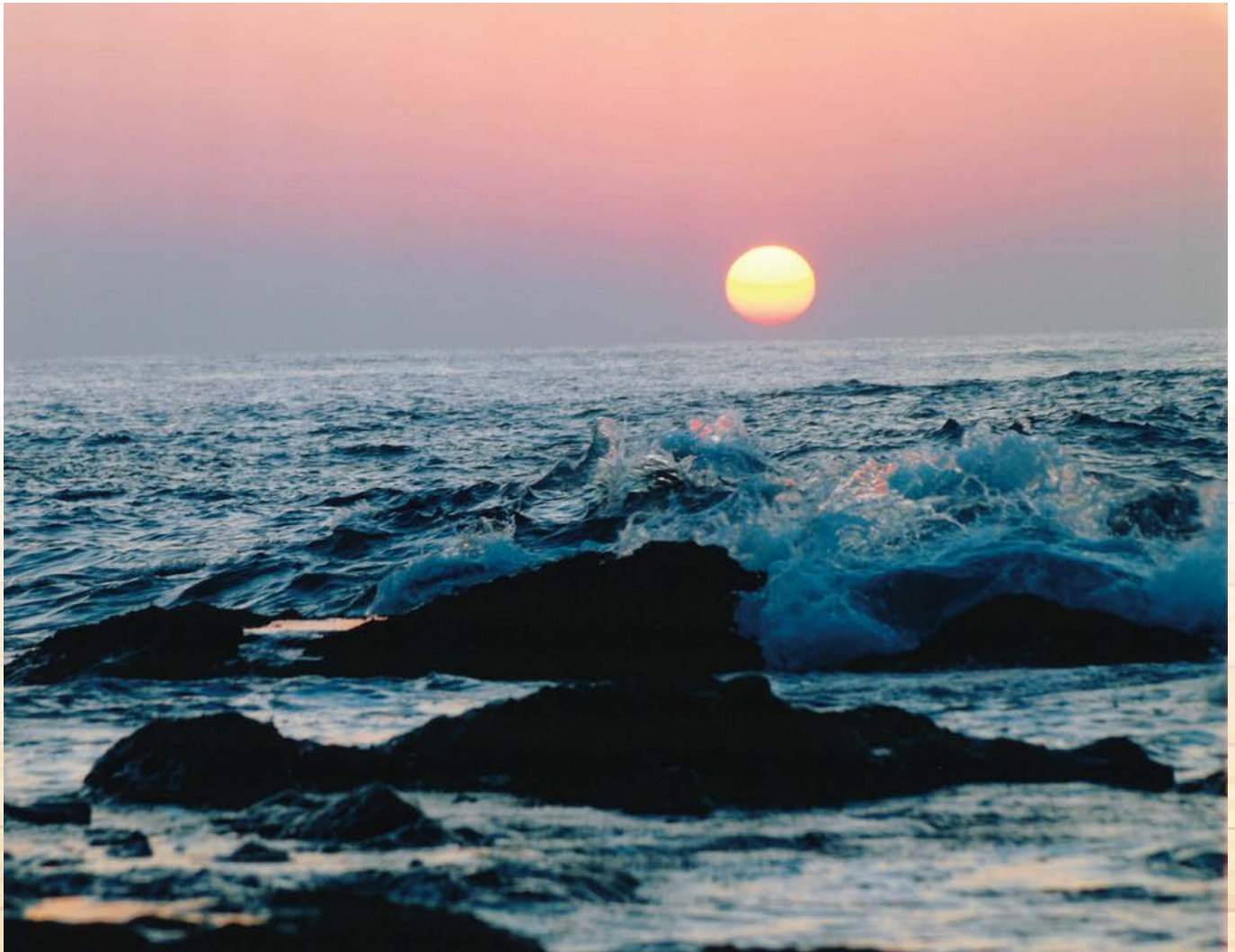
1
vol.7

Monthly
Letter

Rotary



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために



三崎海岸から大海原を望む (撮影：いわき小名浜RC 比佐臣一)

CONTENTS

ガバナー月信 2022年1月号

ガバナーメッセージ……………2	第3回ガバナー会議……………5	全国青少年交換委員会会議および全国危機 管理委員長会議……………9
ロータリー財団補助金管理セミナー報告…3 [ガバナーエレクト事務所開設披露式] [佐藤正道ガバナーエレクト国際協議会社行会] [酒井善盛パストガバナー規定審議会社行会] ……………4	ガバナーエレクト研修セミナー……………6 ガバナーノミニー研修セミナー……………6 第50回ロータリー研究会報告……………7 規定審議会、代表議員研修会……………8	県中分区青少年奉仕会議……………10 新会員紹介……………10 11月会員数報告とMy ROTARY登録率…11 職業奉仕委員会……………12
2021-22年度第1回戦略委員会報告…………4	青少年交換学生オリエンテーション…………8	
ロータリー財団地域セミナー……………5	2022学年度米山記念奨学生選考試験…………9	

国際ロータリー第2530地区 2021-22年度 ガバナー 志賀利彦

■ガバナー事務局 〒971-8185 福島県いわき市泉町5丁目10-6

TEL 0246-88-7940 FAX 0246-88-7939 E-mail : 21-22shiga@ri2530.com

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2530地区
2021-22年度ガバナー

志賀利彦

あけましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました。本年も何卒よろしく願い申し上げます。

7月1日から半年が過ぎ去りました。その間多くの会員諸兄から誠に温かいご声援・ご支援を賜りました。又、パストガバナー各位から温情溢れるご支援・ご指導を頂き、当初の不安は払拭され、63クラブの公式訪問や地区大会をはじめとする前半の重要諸行事も、感動のうちに完了することが出来ました。全ての関係各位に改めて深く感謝申し上げます。

この半年、私が皆様から頂きましたご厚情を回顧し、出逢いは人生を豊かにすること、そして改めてロータリーの友情の素晴らしさを感じました。地区全会員二千数百名お一人お一人が、日の光のような温かい視線を注ぎ合い、出逢うロータリアンがそれぞれの長所に目をとめて、明るい挨拶を交わし、好意と友情に包まれた人情たっぷりの第2530地区を築きたいものと切に希望しております。ロータリアン相互の評価は様々ですが、私は最近、欠点だと思っていることは、単にその人の特性なのだ、良い方向にもっていけば長所になり、人生も、ロータリーも良い方向に導き、長所だと思っている点は、更にその特性を大きく発揮するようにもっていけば、人生を強く牽引してくれる。自分にもロータリーの友人にも、ポジティブな方向から光を当てよう!と痛感しております。

Each One Bring One。会員増強、簡単

ではありませんが、昨年度の各クラブの活動状況と実績を見ると、各クラブの会員増強は、会長が本気になるかどうか、ポイントであることが明瞭であり、地区増強委員会、ガバナー補佐、63クラブの会長・幹事・増強委員長さんが、毎週、毎月の実績を常に確認し、『何度も何度も真剣にトライしているうちに、ふっと可能性の扉が開く瞬間があるものだ』ということを感じて、リーダーシップを発揮してくれることを期待しております。11月末現在、地区全体では純増23名、会津分区と相双分区が純増7名で第一位、中央分区が純増5名で第三位、いわき分区が純増4名で第四位でありました。

11月28日喜多方プラザ文化センターにおいて開催された『ガバナーエレクト事務所開設披露式』『佐藤正道ガバナーエレクト国際協議会壮行会』『酒井善盛パストガバナー規定審議会壮行会』は、久方ぶりに地区内幹部の皆様と直接親しく語り合う機会となり、心に染みる素敵な会合となりました。ホストクラブの喜多方RCの会長さんをはじめとする皆様の真剣で心のこもった会場運営には感服し、深い感動を味わいました。有難うございました。

11月から12月にかけて、地区ロータリー財団補助金管理セミナー、第1回戦略委員会、第3回ガバナー会議、第50回ロータリー研究会、青少年交換学生オリエンテーション、米山記念奨学生選考試験に参加させていただきました。出席できなかった委員会を含め、全ての会合開催に当たっての関係各位のご努力に深く感謝申し上げます。

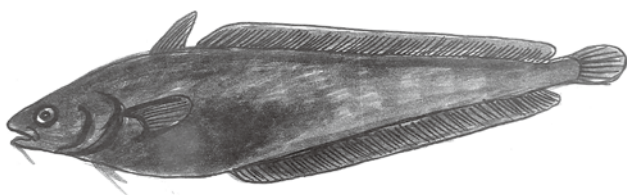
国内でも、新型コロナウイルスの新変異株「オミクロン株」の感染者も出始め予断を許しません。感染防止対策の基本を厳守し、コロナ禍が一日も早く収束することを願い、新しい年の皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。

いわき市のサカナ各月12種の美味のご紹介

1月：ドンコ

- ドンコは地方名。和名はエゾイソアイナメと長い。ドンコの大きな肝臓は醤油煮にするとアンコウより味が濃い。身のほうは白身で淡泊。塩水につけ数日寒風で乾かすと、なかなかの肴になる。ドンコはいわきの隠れた名物である。

画：(公財) Fukushima Marine Science Museum・アクアマリンふくしま
名誉館長 安部義孝(元いわき小名浜RC)



ロータリー財団補助金管理セミナー報告

11月27日



ロータリー財団委員会

副委員長 林 克重
(福島南 RC)

補助金モデルの

変更点・申請書記入の注意点など

11月27日(土)13時30分から南東北総合卸センターイベントホールにて地区内57クラブと地区役員の皆様130名を超えるご参加を賜りようやくリアルセミナーを開催することができました。

志賀利彦ガバナーの開会点鐘後、前年度ロータリー財団寄付認証、感謝状贈呈式が28クラブへ行われました。引き続き志賀ガバナー挨拶、地区研修リーダー芳賀裕PG、担当相談役酒井善盛PG、佐藤正道ガバナーエレクトから挨拶を頂きセミナーを開始しました。

田久財団委員長の挨拶に続き「地区補助金・グローバル補助金について」と題して以下の内容を話しました。

1、補助金モデルの主な変更点

地区活動資金（DDF）国際財団活動資金（WF）から5%が財団運営費として使われること（地区活動資金は24-25年度から2.5%差し引かれる）。また、「未来の夢計画」の実施でグローバル補助金の活用が多くなっており、WFを中心に補助金割合などに変更が加えられたこと。

2、ロータリー財団の寄付状況

寄付額上位5カ国中日本が4位であること、財団の支出状況特にポリオプラス・グローバル補助金・地区補助金の割合について。

3、地区の寄付状況

今年度地区年次基金の寄付ゼロクラブが11月3日現在43クラブあるので早めに振り込みを完了していただくこと、ポリオプラスについて財団から多くの資金が活用され

ている3つの理由について。

4、地区補助金について

いわき分区を例に2019年から3年間の年次基金&ポリオプラス基金の現状や2020-21年度補助金申請内容使途、授与と受諾の条件、今年度地区申請35件中6件のロータリー財団日本支部から差し戻し理由について事例を交えて説明した。

5、グローバル補助金について

申請にはロータリーの重点分野に則していること、長期的で持続可能なプロジェクトであること、実施国・援助国双方のパートナーシップがあること、地区で採択された事例などを説明した。

次に、大野補助金委員長より、各書類の変更があるので地区HPより新しい書式をダウンロードしたものを使用いただくこと、年次基金・ポリオプラスの寄付は3月までに振り込みをお願いすること、の依頼や地区補助金の申請に際しては覚書を2022年1月末まで、申請書を3月末まで提出することなどのスケジュール説明を行うと共に今年度地区補助金配布一覧・各クラブ次年度地区補助金上限額一覧などを説明した。

川又財団資金管理委員長から「地区補助金受取人情報書式（様式HO-100）」の提出期日は新年度の7月1日以降7月末日までをお願いする事や地区補助金報告書事前確認の件などを説明した。

高萩資金推進・ポリオ委員長から各クラブ寄付金金額年度比較を行い寄付の推進について依頼した。

最後に地区財団運営資金管理委員会 平井義郎委員長から財団の寄付状況分析とマニュアル、申請書など各書類がクラウド化になることについてご説明をいただきました。

皆様の協力をいただき通常のセミナー形式を開催できたことは本当に感謝いたします。会場では、ロータリアンの笑顔が溢れていた様でした。

「ガバナーエレクト事務所開設披露式」「佐藤正道ガバナーエレクト国際協議会壮行会」
「酒井善盛パストガバナー規定審議会壮行会」 11月28日



次期地区幹事

佐藤 日出夫
(喜多方 RC)

2021年11月28日(日)喜多方プラザ文化センターに於いて「ガバナーエレクト事務所開設披露式」及び「佐藤正道ガバナーエレクト国際協議会壮行会」、「酒井善盛パストガバナー規定審議会壮行会」が開催されました。

志賀ガバナー、石黒直前ガバナー、パストガバナー、ガバナー補佐の皆様、地区の委員会からは大委員長、副委員長、小委員長の皆様、各クラブを代表して会長様に参加いただき、ホストクラブの喜多方RC会員を含め130名にて開催致しました。

ガバナーエレクト事務所開設披露式では、庄司英喜喜多方RC会長の歓迎のことばの後、佐藤正道ガバナーエレクトより次期に向けた抱負が語られました。その後、志賀ガバナーよりご挨拶をいただき、阿久津パストガバナー、中澤パストガバナーからは祝辞を頂きました。

佐藤正道ガバナーエレクト国際協議会壮行会と酒井善盛パストガバナー規定審議会壮行会では、志賀ガバナーのご挨拶の後、3年前に規定審議会へ出席された大橋パストガバナーよりお二人への壮行のことばを頂きました。

志賀ガバナーご夫妻より佐藤正道ガバナーエレクトご夫妻と酒井善盛パストガバナーへ饞別と花束の贈呈が行われました。最後にお二人から情熱あふれる謝辞をいただきました。

休憩後の祝宴では、喜多方市内で寺の住職とオペラ歌手の二刀流で活躍されている油谷充恩氏に花を添えていただきました。また感染拡大防止策として、会食用マスクの配布、会場内の二酸化炭素濃度の測定を行いながら開催し無事に終了致しました。皆様にも久しぶりの祝宴を楽しんでいただけたのであれば良かったと思っております。遠方よりご出席いただきました皆様に御礼申し上げます。

今後ともご指導、ご協力をお願い申し上げます。



2021-22年度第1回戦略委員会報告 12月11日



地区幹事

蛭田 修二
(いわき小名浜 RC)

2021年12月11日(土)10:00~12:00 郡山ビューホテル・アネックス3階「華」に於いて、2021-22年度第1回戦略委員会が開催されました。

開会宣言のあと、志賀利彦ガバナーより挨拶と今回の議案についての説明があり、「地区運営規定改正について」及び「地区事務所の運営について」の2議案について協議が行われました。

(A)議案第1号 地区運営規定改正について

- ・2020-21年度 規則・手続委員会(高橋金一委員長)より提案された「地区運営規定改正

案」について協議し、一部修正を加えた最終案を2021-22年度中にまとめ、年度最終諮問委員会に提出しご意見を頂くことを確認いたしました。

- ・地区としての最終決定は2022-23年度地区大会の会長会において行うことが提案されました。

(B)議案第2号 地区事務所の運営について

- ・佐藤正道ガバナーエレクトより2022-23年度におけるガバナー事務所及び地区事務所の運営体制についての考え方について報告がありました。
- ・各委員より、今後の地区委員会活動のあり方と事務局の対応について様々な意見が出されました。特に地区事務所の運営方法については、2年後のガバナー事務所統合に向けた慎重な協議が必要であることを確認いたしました。

以上の議案について今年度は月1回程度のペースで会議を開催することを確認し定刻12:00に終了いたしました。

ロータリー財団地域セミナー 12月5日



ロータリー財団委員会
委員長 田久 昌次郎
(いわき平中央 RC)

2021年12月5日、東京丸の内にあるJPタワーホール&カンファレンス(旧東京中央郵便局)で開催された標記セミナーに出席いたしました。参加者は第1・第2・第3地域のガバナーを始めとするロータリアン約200名で、当地区からは佐藤正道ガバナーエレクトにもご参加戴きました。

初めての地域セミナー出席であり、聴くこと・視ることが真新しい事柄で、大変勉強となりました。主な内容をご紹介しますと、財団管理委員会副管理委員長・ユン サンクー氏(韓国)の基調講演と公益財団法人ロータリー日本財団理事長・千 玄室氏の「日本財団の現状」報告。その中で「日本財団はロータリ

ー財団の協力団体であり、設立から10年が経過した」、「ロータリー財団104年の歴史で30億ドル以上のプロジェクトを実現した」ことなどを学ぶことが出来ました。

最後のセッションでは、補助金活用に関する絞ったパネルディスカッションが行われました。登壇者は2510地区財団副委員長・出村知佳子氏、第2地域ARRFC・中村公彦氏、2660地区ガバナーエレクト・宮里唯子氏のお三方です(Arrfcとは「ロータリー財団地域コーディネーター補佐」の略)。印象に残りましたのは、地域・地区によって地区補助金の活用・審査に様々な工夫があること。宮里GEの「寄付ゼロ・ロータリアンを目指す」「誇りを持って寄付をする」との発言でした。

2530地区ロータリー財団委員会においても、本セミナーで得た知見を生かしながらクラブ活性化と寄付文化の醸成を目指し、これまで以上にクラブ支援に取り組んで参ります。

第3回 ガバナー会議 12月6日



ガバナー 志賀 利彦
(いわき小名浜 RC)

2021年12月6日、オークラ東京において、第3回ガバナー会議が開催されました。

今年度はコロナ禍でお互いに顔を合わせる機会がなかったため、同期ガバナーとの久々の再開の場となりました。

辰野克彦RI理事のご挨拶のあと、会議に先立ちRIJYEMから「地区ローターアクト委員長及び地区ローターアクト代表会議を開催することへの事前了承」について説明がありました。

当日の審議事項は、「1. ガバナー会規約の改正について」「2. ガバナー会とロータリー文庫の統合について」の2点でした。

ガバナー会規約の改正については、「オンライン会議の場合にオンラインシステム上での可決を有効とする」との改正案が可決されました。

ガバナー会とロータリー文庫の統合については、現在の黒龍堂(黒龍芝公園ビル)との賃貸借契約が7月更新時期にあたることから、資料管理を含む管理機能のすべてを「ガバナー会」に移行するとの提案がされました。この件については、様々な意見・質問があり、たいへん大きな問題ではあるが、まだ論点が整理されておらず、結論は出せないため、継続審議となりました。今後は黒龍ビルにある「ロータリーの友」をはじめとする四つの組織との懇談会を早急に開き、その内容を全地区ガバナーへフィードバックをした上でオンラインによるガバナー会議で最終的な結論を出す方向となりました。

なお、協議事項として、ガバナー会規約第2条および第4条の改正についてと、ガバナーサポート委員会の設置についての説明がありました。

ガバナーエレクト研修セミナー (GETS) 12月6日



ガバナーエレクト

佐藤 正道

(喜多方 RC)

さる12月6日に2回目となるガバナーエレクト研修セミナー (GETS) が東京にて開催されました。昨年のガバナーノミニー研修セミナーからすべてオンラインによる研修でしたが、今回初めて対面での研修となりました。

今年5月より同期のガバナーノミニー・エレクトと毎月オンラインにて交流会を持ってきたため、初めて顔を合わせても容易に打ち解けることができ、そして対面できたことを共に喜びを分かち合いました。

さて今回のGETSは来年1月にアメリカのオーランドで開催される国際協議会に向けての準備のための研修であると、水野功GETS研修チームリーダーから説明を受け、山崎淳一2019-20年RI研修リーダーより、国際協議会の概要の説明を受けました。その後ガバナーエレクトとパートナーが分科会に分かれ、それぞれレクチャーを受け、その後合流し全体会にて今後の対応について協議しました。

その内容は、GETSの2日前にジュニア・ジョーンズ RI会長エレクトより、日本のガバナーエレクトへ送られたバーチャル形式の出席を奨励する旨の書簡の件でした。日本政府が11月30日から水際対策の強化をし、14日間の自宅等での待機となったことによる対応だと思われます。

この時点での参加形式の希望を確認したところ、バーチャル参加と現地参加が2:1の比率でした。ほとんどのガバナーエレクトは現地での参加登録を済ませ、旅行の申し込みも終え、航空券やホテルの手配も済んでいる状況でした。最終判断はそれぞれのガバナーエレクトに委ねられ閉会となりました。

その後12月12日に同期会をオンラインで開き、国際協議会の対応について協議し、最終的に日本の全地区はバーチャル形式での参加に統一することにしました。さる11月28日には地区の皆さんに盛大な壮行会を開催していただいた私を含め一部の人にとっては苦渋の決断でした。

バーチャル形式は2月7~15日の予定ですが、1月18日東京にてIAライブビューイングとしてRI会長エレクトの挨拶を拝聴することになるようです。

国際協議会はバーチャル形式となりましたが、気を緩めることなくしっかり学びたいと思います。

ガバナーノミニー研修セミナー (GNTS) 12月6日



RI第2530地区 2021-22年度
ガバナーノミニー

右近 八郎

(福島 RC)

2021年12月6日(月)に、東京駅前のJPタワーホール&カンファレンスにて、ガバナーノミニー研修セミナー (GNTS) が開催され、参加しましたのでご報告します。

当セミナーは12月7日と8日にホテルメルパルクにて開催された第50回ロータリー研究会の付随プログラムとして開催されたもので、ガバナーエレクト研修セミナー (GETS)、規定審議会代表議員研修、第3回ガバナー会議なども併せて開催されました。

当GNTSの参加者はガバナーノミニー32名およびパートナー15名で、2022年RI研修リーダーの3名、GNTSチームリーダー菅原裕典様(第1地域、仙台泉

RC)、服部陽子様(第2地域、東京広尾RC)、四宮孝郎様(第3地域、大阪西南RC)が中心となり執り行われました。

午前の部は全体会議で、辰野克彦RI理事、佐藤芳郎RI理事エレクト、三木明ロータリー財団管理委員会のご挨拶のあと、各ノミニーとパートナーの自己紹介がありました。そのあと山崎淳一前研修リーダーの基調講演「変革と成長のリーダーシップ」があり昼食となりました。午後の部では、ガバナーノミニーはRLI形式での研修を2コマ、パートナーは別室での研修を受け、最後は全体会議に戻りロータリー関連の最新情報の提供を受けて、16:00過ぎに研修終了となりました。ガバナーノミニー同期の初めての顔合わせでしたが、お互いの覚悟を慰めあい今後の決意を新たにしました。



第50回 ロータリー研究会報告 12月7・8日



地区研修リーダー
 パストガバナー 芳賀 裕
 (福島中央 RC)

国内34地区(RIゾーン1A、2、3)からロータリーリーダーが参集し、ロータリーの未来像を考え今後の行動を話し合う「ロータリー研究会」が「輝く未来を創る」を研究会テーマとして東京メルパルクホールを中心に2日間にわたり開催されました。

昨年は、コロナ禍のためバーチャル研究会となったので2年ぶりに顔を合わせての研究会で590人(内パートナー130名)の登録がありました。

当地区からは、志賀利彦ガバナーご夫妻、大橋廣治PG、酒井善盛PG、鈴木邦典PG、石黒秀司直前ガバナー、佐藤正道ガバナーエレクトご夫妻、右近八郎ガバナーノミニーご夫妻と私が参加いたしました。

≪第1日目プログラム≫

各種報告 ①RI報告(辰野克彦RI理事)②ロータリー財団等報告(三木明R財団管理委員、小沢一彦ポリオプラス日本担当アドボカシー)③ロータリー日本財団報告(渡辺好政副理事長)④米山記念奨学会報告(水野功副理事長)

メッセージ コロナ感染防止対応で来日できなかったシェカール・メーターRI会長から「DEI、女兒のエンパワーメント」等に触れたメッセージと基調講演がビデオで寄せられ、ロータリー財団管理委員会・伊商求副委員長からも「ロータリー財団と7つの重点分野」のメッセージも寄せられました。

第1セッション 「多様性ある会員基盤」(仲間を増やして会員基盤を広げる)

第2セッション 「未来を創る奉仕活動」(ロータリーの重点分野を考えて)

≪第2日目プログラム≫

規定審議会(COL)報告とディスカッション

まず、滝澤功治代表議員世話人代表から、今回提出されている制定案は前回(2019年)の117件より少ない92件で、内国内地区より理事会提案の13件より多い25件の提案がなされ関心の高さが伺

われる等の報告がありました。その後、3人のパネリストより若干の提案内容につき説明がありました。特に、理事会提案22-72「クラブの管理の試験的プロジェクトについて規定する件」は、クラブとロータリアンに対する監督においてより現代的な管理構造を試すことを理事会に許可することを目的として「6,000以下のクラブを含み期間を6年以内とした理事会が適切とみなす監督を伴う試験的プログラムを実施する」趣旨での提案であり「ロータリーの未来形成(SRF)」として注目されています。

本研究会の最後のシェカール・メーターRI会長と参加者とのオープン・フォーラムで「これからのロータリー組織はどのようになるか?」の問いに、会長は「これからのプロジェクトの中で固まっていくことになるだろう。」と明確な内容には触れませんでした。皆さんとこの進展には関心を持って行きましょう。

第3セッション 「ロータリーの未来像」(これからのロータリーを考える)

特に本田博己(第2840地区)PDGが、2017年アンケート結果(ロータリーの友2017年11月号)、「ビジョンレポート」(ロータリーの友2021年6月号)を参考にして「ロータリーは今アップデートの時にある」と強調されました。

オープン・フォーラム

最後に、会長がインドで移動中のバスの中からオンラインで質疑応答をされましたが、短時間で充実した内容とは言えませんでした。やはり、落ち着いた状況でやれたら良かったと残念に感じました。

今回の研究会は、特に50回目という記念すべき会であるところから懐かしい顔も多く見られ、休憩時間等で多くの会話が交わされていました。来年は、神戸でこの研究会が開催予定ですが、新型コロナウイルス感染状況の早期収束を祈ります。

7つ目の重点分野「環境」とDEI声明

Diversity (多様性)
 * 環境問題のステークホルダーは多様
 (国・地域・文化・民族・宗教・社会経済・言語)

Equity (公平さ)
 * 排出国と被害国
 * 共通だが差異ある責任 (地球サミット 1992)

Inclusion (包摂)
 * 国家の安全保障としては取り組みにくい
 * 先進国だけでは解決しない
 * 南方自由の人間の安全保障 (グローバルパックス)

規定審議会、代表議員研修会 12月6日



2022年規定審議会
地区代表議員
パストガバナー

酒井 善盛
(南相馬 RC)

2022年4月、シカゴで行われる規定審議会のための研修が12月6日、JPタワー4Fで辰野RI理事、三木TRF管理委員、出席のもとで開催されました。滝沢代表世話人（神戸須磨）の議事進行で、制定案の概要、状況、カテゴリー別の提案件数等々の説明があり、規定審議会提出立法案、RI理事会提出立法案、合計92件の提案が発表されました。第一地域世話人中谷PG（足利東）、第二世話人田中PG（西尾）、第三世話人立野PG（大阪）から担当別の説明を受けました。提案数

は日本25件、RI理事会12件、ブラジル13件、米国10件、インド9件、台湾8件等23か国から92件が提出されています。

規定審議会はロータリー唯一の立法機関です。ロータリーの発展に寄与するとともに、目的すなわち奉仕の理念を学び、実行することを奨励し育むことである。日本は最多の25件が提出されましたが、残念ながら2530地区からは提案はありませんでした。ロータリアンであれば誰でも参加提案できます。日ごろより思っている事や感じていることを次回2025年の審議会に提出できることを願っています。制定案の他に決議案がオンラインで行われています。次回の締め切りは2022年6月30日です。地区やクラブで提案事由が出ましたらご連絡ください。

青少年交換学生オリエンテーション 12月11日



青少年交換委員会

委員長 原田 康博
(いわき平東 RC)

12月11日、地区事務所会議室におきまして青少年交換学生候補生2名（穴沢征大君、藤田亜煉君）に対する第1回青少年交換派遣学生オリエンテーションを開催いたしました。コロナ禍により派遣、受け入れ事業の中止を余儀なくされておりましたが、2022年7月より当事業の再開をするとの決定を受けまして、派遣学生の募集、選考会を経、前述の2名に対するオリエンテーションを企画実行いたしました。1回目のオリエンテーションの内容は、1.「ロータリーとは」2.「ロータリー青少年交換プログラムとは」3.「YESS登録の仕方」4.「Application

（長期プログラムのための申請書）の作成方法、作成の留意事項、添付書類の依頼（学校、医師、歯科医師）」の4項目についての研修でした。当日は、別の委員会に出席されておりました志賀利彦ガバナーが午後の研修に訪れていただき暖かく、力強い激励のお言葉を頂戴いたしました。又、佐藤正道ガバナーエレクトによる指導、研修をしていただきました。今後は、渡航先等での危機管理についてのオリエンテーションになってまいります。

派遣候補生は、来年派遣するまでの間に6、7回のオリエンテーションに参加しなければならない義務があります。私たち青少年交換委員会といたしましては、世界はもちろん日本でも「withコロナ」に舵を切りつつある中、先行き不透明ではありますが、派遣の実現に向けて粛々と準備を進めてまいりたいと思っております。今後とも会員の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

2022学年度米山記念奨学生選考試験 12月12日



米山記念奨学会選考委員会
委員長 佐藤 壮一郎
(二本松あだたら RC)

2022学年度米山記念奨学生面接選考試験を、12月12日(日)郡山駅前ビッグアイ7F会場で実施されました。

新型コロナウイルス感染の広がりが心配される中、面接試験なので応募者の人柄などはZoom等では判断しづらく、リアルで実施する事を目指していましたが、幸いにも県内の感染者数0人が続いていたのでリアルで実施する事が出来ました。

各指定校から厳選された35名の応募がありました。2022学年度の当地区割当数は17

名です。さらに17名中昨年より継続の奨学生が5名いましたので実質選考するのは12名(地区奨励校2校は採用枠1人につき2人採用可のため14名)です。大変厳しく難しい面接試験となりました。試験会場は、感染対策をしっかりと午前部と午後部に分かれ、応募者の人となりを見極めながら面接が行われました。志賀ガバナーはじめ面接官の皆様と地区米山記念奨学会委員会の皆様のおかげおもちまして、14名が選ばれました。

奨学生は勉学に励み、世話クラブの例会等に出席しロータリーを理解していただき、母国と日本の懸け橋となることを願います。

地区内クラブの皆様には、今後とも米山記念奨学会委員会にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第8回 全国危機管理委員長会議及び全国青少年交換委員長会議 12月12日



青少年奉仕委員会
委員長 大木 和彦
(須賀川 RC)

12月12日、第8回全国危機管理委員長会議及び全国青少年交換委員長会議が開催され、東京都中央区にあるAP日本橋の貸し会議室で対面の出席をしました。

当地区では、RIJYEM研修委員会・渡辺浩子会員とオンラインで青少年交換委員会原田康博委員長が参加しました。

テーマ1「現在の危機管理に係る重要書類について」RIJYEM副理事長片山勉氏の説明より、要旨としてRIは、2006-07年度以降、いわゆる危機管理としての方針・指針が機能していない地区に対しては青少年交換プログラム参加禁止を表明しました。日本34地区の対応策の流れの中、現在の一般社団法人RIJYEMに至っております。

当地区では、2022-23年度青少年交換事業の再開

を準備すべく、コロナ禍における必須要件である「青少年保護のための危機管理計画書」の策定を進めております。

パンデミック発生時の規定として、付則または細則としての追加・改訂が必要となりました。

追加 2点

1. パンデミック発生時の基本方針【青少年の命と安全が最優先】日本国及び相手国の政府決定方針を優先、遵守する。

2. 平常時の計画(具体策)に、パンデミック発生時の対応策

テーマ2「来日学生の日本入国の手続きについて」

北川雅一朗研修委員より

外国人の日本入国について、文部科学省国際教育課の「高等学校等における私費外国人留学生の入国再開について」の説明があり、それに伴う課題の状況を確認することが出来ました。

最後に、日本34地区の中で、2022-23年度に青少年交換事業の再開予定は、53.3%(11月28日現在)となっております。COVID-19の対策の情報交換をしながら、対策を続けてゆく必要を実感した会議でした。

県中分区青少年奉仕会議 11月28日



青少年奉仕会議実行委員会

委員長 吉田 隆夫

(船引RC)

2021年11月28日(日)午後2時から午後3時40分まで、田村市船引町の迎賓館辰巳屋をメイン会場として、船引RCホストにて県中分区青少年奉仕会議を開催しました。今年もコロナの影響で、Zoomによるオンライン会議となりました。Zoomに関しては、地区のZoomをお借りしての開催で、オンライン支援委員会鈴木雅之委員長の全面バックアップを受けての開催となりました。

参加クラブは、本宮RC・三春RC・常葉RC・滝根RC・小野RC・船引RC・福島県立本宮高等学校IAC・福島県立田村高等学校JRCIA部・田村市立船引中学校IACの9クラブで行いました。メイン会場には、県中分区橋本紀子ガバナー補佐・橋本国春分区幹事・船引中学校IAC・船引RC会員が集まり、会議に先立ち船引RC・田村市立船引中学校IACとの合同例会も開催しました。青少年奉仕会議では、オンライン講演を行い、講師は

東邦銀行総合企画部広報・社会貢献課副部長兼課長の村岡俊一様による「SDGs…今私たちにできる事とは」と題し、東邦銀行本店よりオンラインにて行い、「SDGsとは」から始まり、目標・CO₂排出による気候変動・マイクロプラスチック問題・食料危機など幅広く講演を頂き、講演終了後、各IACの生徒・各RC会長の皆様より質疑応答や現在学校もしくは個人で取り組んでいる事の発表もあり、常にSDGsに関心を持ち、できる事から実践しなければいけないと思う非常に有意義な講演となりました。

この講演にあたり、県中分区よりIAC生徒に対し、SDGsバッジを購入して頂き、当日はバッジを付けて参加を頂きました。

最後に、ガバナー事務所スタッフの皆様、オンライン支援委員会鈴木委員長、参加された各クラブ会員の皆様に感謝を申し上げ、報告といたします。



新会員紹介



●中央分区 郡山 RC

鈴木 淳 すずき じゆん

- 入会日 2021年11月11日
- 職業分類 金融サービス業
- 勤務先 オリックス(株)郡山支店



●会津分区 会津若松西 RC

星 幸司 ほし こうじ

- 入会日 2021年11月4日
- 職業分類 自動車修理
- 勤務先 有限会社 新星モーター商会 スズキエアリーナ会津南



●いわき分区 いわき勿来 RC

櫛田 幸雄 くしだ ゆきお

- 入会日 2021年11月24日
- 職業分類 衣料品販売
- 勤務先 呉服と洋服クシダヤ



●県北第二分区 保原 RC

五十嵐 陽一 いがらし よういち

- 入会日 2021年11月17日
- 職業分類 銀行
- 勤務先 (株)東邦銀行保原支店



●県南分区 東白川 RC

遠藤 大輔 えんどう だいすけ

- 入会日 2021年11月2日
- 職業分類 花き輸出業
- 勤務先 株式会社 FLOWER KING

物故会員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



●会津分区 会津若松中央 RC

横山 秀夫 よこやま ひでお

- 2021年11月17日 ご逝去
- 享年 84歳
- ロータリー歴 26年

11月会員数報告とMy ROTARY 登録率・生年月日登録率

分区	クラブ	7/1現在会員数 (内女性)	前月末会員数 (内女性)	1日付け入会者数 (内女性)	2日～月末入会者数 (内女性)	当月退会者数 (内女性)	当月末会員数 (内女性)	例会 回数	My ROTARY 登録率	生年月日 登録率
中央 分区	郡山	98 (0)	97 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	98 (0)	4	18.37 %	22.45 %
	郡山西	38 (0)	40 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	40 (0)	3	75.00 %	7.50 %
	郡山東	34 (3)	35 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (3)	3	77.14 %	57.14 %
	郡山南	90 (12)	90 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	90 (13)	4	77.78 %	100.00 %
	郡山北	39 (1)	40 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	40 (1)	5	55.00 %	17.50 %
	郡山西北	42 (1)	42 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	42 (1)	3	30.95 %	11.90 %
	郡山安積	51 (3)	50 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	50 (3)	4	28.00 %	22.00 %
	郡山アーバン	30 (15)	30 (15)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	30 (15)	2	66.67 %	33.33 %
	郡山コスモス	15 (4)	17 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (3)	2	76.47 %	64.71 %
福島グローバル	18 (2)	18 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	18 (2)	4	72.22 %	94.44 %	
中央分区小計		455 (41)	459 (41)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	460 (41)	34	57.76 %	43.10 %
県北 第一 分区	福島	94 (5)	95 (7)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	94 (7)	2	100.00 %	96.81 %
	二本松	37 (2)	39 (4)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	38 (4)	2	65.79 %	94.74 %
	福島南	70 (6)	70 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	70 (6)	2	72.86 %	100.00 %
	福島西	23 (2)	23 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	23 (1)	3	73.91 %	95.65 %
	福島中央	50 (3)	51 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	51 (4)	3	100.00 %	100.00 %
	二本松あだたら	35 (5)	35 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (5)	2	91.43 %	97.14 %
	福島21	42 (4)	42 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	42 (4)	3	95.24 %	97.62 %
県北第一分区小計		351 (27)	355 (31)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	353 (31)	17	85.60 %	97.42 %
会津 分区	会津若松	51 (0)	52 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	52 (0)	3	36.54 %	92.31 %
	喜多方	42 (0)	44 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	44 (0)	4	95.45 %	100.00 %
	会津若松西	24 (0)	24 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	25 (0)	4	60.00 %	92.00 %
	猪苗代	26 (4)	26 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	26 (3)	3	88.46 %	88.46 %
	会津坂下	32 (0)	33 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	33 (0)	4	66.67 %	12.12 %
	田島	33 (0)	35 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (0)	4	62.86 %	71.43 %
	会津若松南	16 (1)	16 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (1)	3	31.25 %	100.00 %
	会津若松城南	24 (0)	25 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (0)	4	44.00 %	100.00 %
	喜多方中央	32 (1)	31 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	31 (1)	2	80.65 %	96.77 %
	会津若松中央	19 (8)	19 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19 (6)	3	89.47 %	94.74 %
会津分区小計		299 (14)	305 (11)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	306 (11)	34	65.53 %	84.78 %
いわ き分 区	いわき平	50 (0)	51 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	51 (0)	3	21.57 %	98.04 %
	いわき小名浜	70 (0)	72 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	72 (0)	4	29.17 %	97.22 %
	いわき勿来	39 (0)	39 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	40 (0)	4	32.50 %	100.00 %
	いわき内郷	25 (1)	23 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	23 (3)	4	28.00 %	56.00 %
	いわき常磐	20 (0)	18 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	18 (0)	2	30.00 %	30.00 %
	いわき平夷	38 (2)	41 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	41 (3)	2	92.68 %	90.24 %
	いわき四倉	11 (3)	10 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (3)	0	27.27 %	100.00 %
	いわき平中央	28 (4)	31 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	31 (4)	2	25.81 %	93.55 %
	いわき桜	14 (15)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	3	85.71 %	100.00 %
いわき分区小計		296 (25)	299 (27)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	300 (27)	24	41.41 %	85.01 %
県北 第二 分区	飯坂	41 (4)	41 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	41 (4)	4	100.00 %	100.00 %
	福島北	53 (1)	53 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	53 (1)	4	100.00 %	100.00 %
	保原	28 (1)	28 (1)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	28 (1)	3	67.86 %	100.00 %
	福島東	40 (3)	40 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	40 (3)	4	82.50 %	100.00 %
	梁川	17 (1)	16 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (2)	4	75.00 %	100.00 %
	川俣	36 (2)	35 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (2)	2	66.67 %	100.00 %
	福島しんたつ	21 (3)	20 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	20 (2)	4	60.00 %	100.00 %
県北第二分区小計		236 (15)	233 (15)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	233 (15)	25	78.86 %	100.00 %
県南 分区	白河	42 (3)	42 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	42 (2)	3	28.57 %	19.05 %
	須賀川	45 (0)	46 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	46 (0)	5	17.39 %	84.78 %
	東白川	11 (0)	11 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	12 (0)	4	41.67 %	100.00 %
	石川	36 (1)	35 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (1)	4	28.57 %	100.00 %
	矢吹	10 (1)	10 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (1)	2	30.00 %	40.00 %
	白河西	64 (5)	64 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	64 (6)	4	93.75 %	100.00 %
	須賀川ぼたん	13 (0)	12 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (0)	3	50.00 %	91.67 %
	白河南	16 (0)	16 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (0)	3	12.50 %	0.00 %
県南分区小計		237 (10)	236 (10)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	237 (10)	28	37.81 %	66.94 %
相双 分区	原町	23 (0)	24 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (0)	2	25.00 %	100.00 %
	相馬	29 (4)	31 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	31 (4)	3	25.81 %	87.10 %
	浪江	44 (2)	44 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	44 (2)	1	29.55 %	100.00 %
	富岡	40 (3)	42 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	42 (5)	2	23.81 %	100.00 %
	原町中央	42 (6)	43 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	43 (6)	3	16.28 %	97.67 %
	南相馬	24 (3)	25 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (3)	4	92.00 %	100.00 %
相双分区小計		202 (18)	209 (20)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	209 (20)	15	35.41 %	97.46 %
県中 分区	本宮	37 (5)	36 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (7)	4	36.11 %	100.00 %
	三春	23 (2)	23 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	23 (2)	4	69.57 %	86.96 %
	常葉	23 (0)	24 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (0)	3	54.17 %	100.00 %
	滝根	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1	100.00 %	100.00 %
	船引	45 (3)	47 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	47 (3)	4	59.57 %	10.64 %
小野	20 (0)	19 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19 (1)	3	21.05 %	100.00 %	
県中分区小計		150 (10)	151 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	151 (13)	19	56.75 %	82.93 %
2530地区合計		2,226 (160)	2,247 (168)	0 (0)	5 (0)	3 (0)	2,249 (168)	196	57.39 %	82.21 %

*7/1現在会員数には7/1入会者9名・退会者1名を含んでいます。



職業奉仕委員会
筋内 一典
 (福島中央 RC)

THIS ROTARIAN AGE (ロータリーの理想と友愛) の紹介

ポール P. ハリス著

ポール・ハリスが書いた「This Rotarian Age」(1935年出版)は初期のロータリーの歴史を記載した数少ない文献の一つです。この本は単なるロータリーの歴史だけではなく、シカゴでロータリーが生まれた背景やロータリーの理念についても触れています。

チェスリーR・ペリーが書いた序文には「もし、ある人がロータリアンとなって、未だロータリーにより十分なる人間性を感じ得ざる不満足を懐くとすれば、本書を一読して明快にその不満足を一掃するであろう。あるいは、ロータリー運動をもって参加に値するほど重要ならずと感じ、これに興味を失わんとするロータリアンありとすれば、その誤られる認識は本書によって直ちに是正されるだろう」と記されています。

この本では、ロータリーの原点がどのようなものがあったかを知ることが出来ます。また過去と当時の事実と問題点、将来予見されるロータリーの可能性についても述べています。ポール・ハリスは「ロータリーの概念する奉仕の理想とは、著者の理解するところでは物の過程の最初に奉仕を置くものである。換言すれば奉仕の理想を標榜する者は、受けるべき物質においてではなく、まず与えるべき奉仕に着眼すべきである。物質を眼前に近く置けば見通しは困難となる。そしてその最も愚かな方法は金銭に集中することである。」と述べています。

また、本の中でポール・ハリスは、経営学に基づく奉仕の理念を作り上げたアーサー・フレデリック・シェルドンについて、チェスリー・ペリーと共にロータリー運動に不滅の足跡を残した人物と評価しています。

この本は、ロータリアンが是非読んでおきたい書物の一つだと思います。

新たな地平線を発見しよう



EXPLORE
 CREATE
 CHANGE
 INNOVATE
 INSPIRE
 SERVE



ロータリー国際大会 2022

2022年6月4日~8日

米国テキサス州 ヒューストン

登録料 12/16~3/31 \$575
 4/1~6/8 \$675



国際ロータリー第2530地区 2021-22年度

第40回RYLA研修会

参加者募集



テーマ **SDGsの理念に合致する事業を
 リーダーとして企画しよう**

開催日 **2022年2月26日(土)27日(日)**

開催日 **磐梯熱海温泉ホテル華の湯**

新型コロナウイルス感染症が拡大した場合は、スケジュールを2月26日だけとし、Zoomによるオンライン研修会として開催いたします。



講師 **鈴木 文健 氏**

- ・郡山市出身の俳優
- ・中テレ番組「ゴジてれChu!」
- ・「ブンケン歩いてゴミ拾いの旅」
- ・中テレSDGsアンバサダー



講師 **大内 克泰 氏**

- ・遊VIVA GYM代表
- ・ライフキネティック日本支部
- ・公認マスタートレーナー
- ・日本スイミングクラブ協会特別講師

RYLA研修会 募集要項

参加資格 18歳~40歳くらいまで
 学生・社会人・ロータリーファミリー
 募集人員 80名 申込期限 1月31日(月)
 参加費 10,000円
 各クラブから1名以上RYLA研修生の参加をお願いいたします。